

【 貸借対照表 】

(2025年 3月31日 現在)

株式会社ENEOSスカイサービス

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,341,779	流 動 負 債	407,047
現金及び預金	14,205	買掛金	3,165
売掛金	287,150	未払金	69,401
前払費用	62,352	未払費用	109,651
短期貸付金	974,458	未払法人税等	40,857
未収入金	2,890	未払消費税	20,470
立替金	722	預り金	8,549
固 定 資 産	678,607	賞与引当金	151,972
有 形 固 定 資 産	203,592	役員賞与引当金	2,980
建物	82,505	固 定 負 債	202,849
建物附属設備	42,226	退職給付引当金	200,959
構築物	6,717	役員退職給付引当金	1,890
機械装置	23,167	負 債 合 計	609,896
車両運搬具	6,201	純 資 産 の 部	
工具器具備品	42,774	科 目	金 額
無 形 固 定 資 産	147,559	株 主 資 本	1,415,543
ソフトウェア	147,559	資 本 金	100,000
投資その他の資産	327,455	資 本 剰 余 金	460,000
投資有価証券	88,757	資本準備金	460,000
長期前払費用	11,065	利 益 剰 余 金	855,543
長期繰延税金資産	146,531	繰越利益剰余金	855,543
差入保証金	81,101	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△5,053
		その他有価証券評価差額金	△5,053
		純 資 産 合 計	1,410,490
資 産 合 計	2,020,386	負 債 及 び 純 資 産 合 計	2,020,386

当期純利益 181,134

個別注記表

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

① 有価証券の評価基準および評価方法

有価証券……………移動平均法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産除く)……………定額法を採用しております。

② 無形固定資産(リース資産除く)……………定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。ただし、N e T Sについては、使用年限を考慮し10年で償却しております。

③ リース資産……………リース期間を耐用年数とし残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

④ 長期前払費用……………均等償却を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

過去の貸倒実績がないことから、貸倒引当金は計上しておりません。

② 賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

③ 役員賞与引当金

役員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しております。

④ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規則に基づく自己都合による当期末要支給額を計上しております。

⑤ 役員退職給付引当金

役員の退職給付に備えるため、親会社指定額に基づく当期末要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

② グループ通算制度の適用

当社は、グループ通算制度を採用しております。これに伴い、法人税および地方法人税並びに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制

度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日。以下「実務対応報告第 42 号」という。)に従っております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産に係る減価償却累計額 185,757 千円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度末における発行済株式の種類および総数 普通株式 200 株

(2) 配当に関する事項 該当事項はありません。